

別添2 白雲岳避難小屋周辺利用計画図（登山者が利用可能な区域） （令和2年6月下旬～9月）

北海岳↑

野営指定地
仮設避難小屋

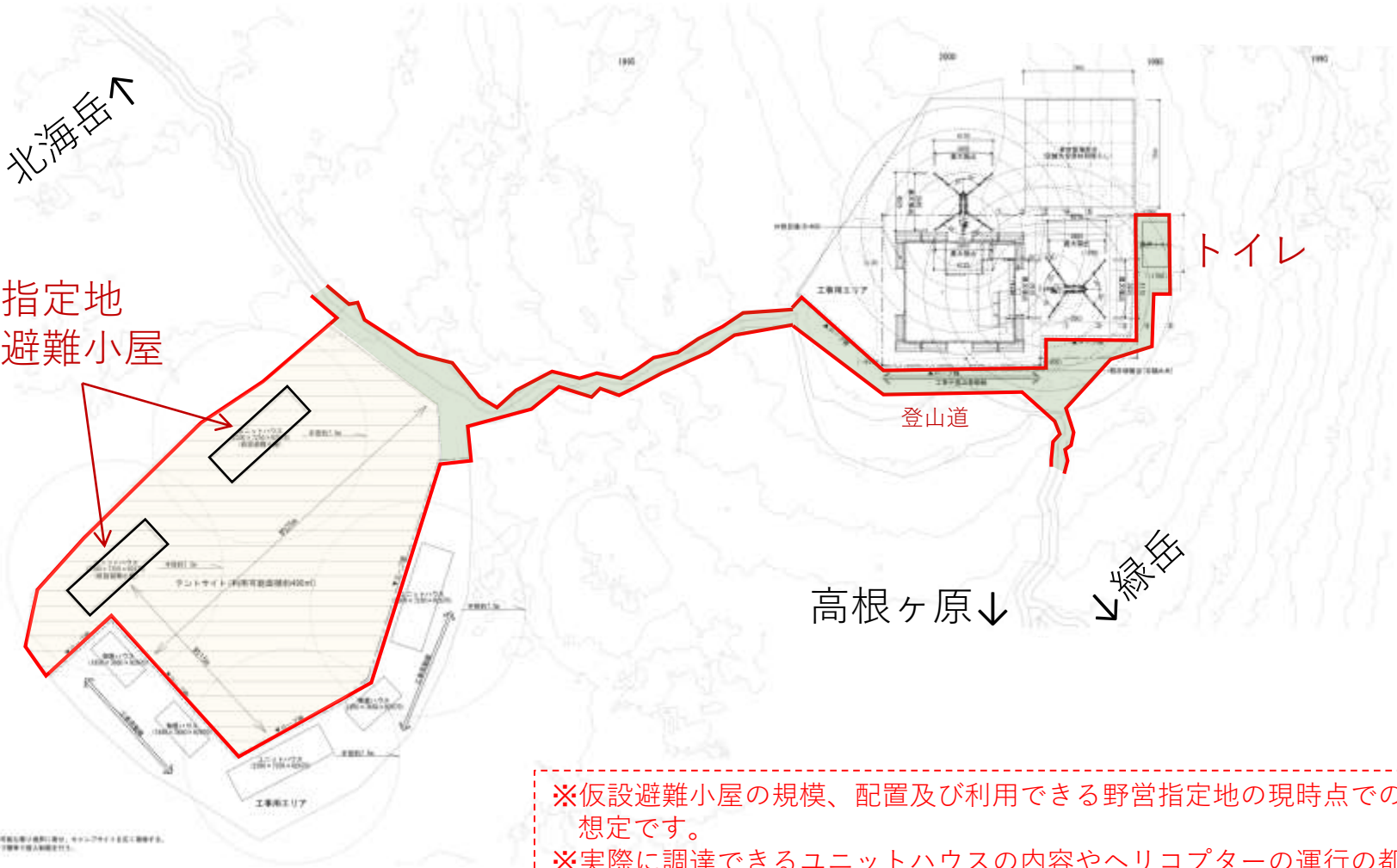
トイレ

登山道

高根ヶ原↓

↓縁岳

※仮設避難小屋の規模、配置及び利用できる野営指定地の現時点での想定です。
※実際に調達できるユニットハウスの内容やヘリコプターの運行の都合等により、変更する場合があります。
※第3報で確定版をお示しする予定です。



※ユニットハウスは可能な限り複数に配置し、ユニットハウスの互換性を確保する。
※工事エリアはロープウェイ管轄内を優先する。

【参考資料】 テントサイト利用想定図
 (幕営可能な区域に、1～2人用テントをすべて張った場合)

工事期間中のテントサイト

工事用エリア

避難小屋へ

※仮設避難小屋の規模、配置及び利用できる野営指定地の現時点での想定です。
 ※実際に調達できるユニットハウスの規模やヘリコプターの運行の都合等により、変更する場合があります。
 ※第3報で確定版をお示しする予定です。

◇ <1～2人用テントスペース>
 テントを1.4m×2.1mとし、隣のテントとの離隔距離0.5mとした場合

